

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	技術科	学年	1年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を身に付ける。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
前期	材料と加工に関する技術 ・生活に必要な木工製品の製作	・主な材料や加工について科学的な原理・法則について理解すること。 ・材料の製造方法や成型方法などの基礎的な技術の仕組みを理解すること。 ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検及び調整などができる技能を身につけること。 ・自分なりの考え方やとらえかたによって、解決策を構想しようとする事。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるよう改善・修正しようとする事。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	・学習内容について理解している。 ・工具を安全に取り扱うことができ、作業に適した基礎的な工具の使用ができる。 【オンライン参加の場合】 ・学習内容について理解している	・定期試験 ・技能試験 ・木工製品の製作品 【オンライン参加の場合】 ・定期試験
②思考・判断・表現	・日常生活と関連付け、課題とその解決方法について考え、工夫している。 【オンライン参加の場合】 ・日常生活と関連付け、課題とその解決方法について考え、工夫している。	・提出物の記述内容 ・木工製品の設計 【オンライン参加の場合】 ・提出物の記述内容
③主体的に学習に取り組む態度	・課題の解決に取り組もうとしている。 ・生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 【オンライン参加の場合】 ・課題の解決方法や生活を工夫し、創造しようとしている内容が提出物に記述されている。	・提出物の記述内容 ・授業内の学習活動全般 【オンライン参加の場合】 ・提出物の記述内容

(2) 観点と評価の関係

			評定	<評価の注意事項> 技術科の授業では、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度を総合的に評価します。各観点において、とても満足できる場合A、満足できる場合B、努力を要する場合C、各観点の評価をもとに評定を決定します。授業への積極的な取り組みと課題の内容、授業内の技能テスト、定期テストなどに全力で取り組んだ結果が最終的な評価となります。基本的に授業で取り扱うもの全てが評価の参考資料となることを念頭に置き、普段の授業を大切にしましょう。
A	A	A	5	
A	A	B	4	
A	B	B	3	
A	A	C		
A	B	C		
B	B	B		
B	B	C		
A	C	C		
B	C	C	2	
C	C	C	1	

4. 教科に関するアドバイス

学習活動を通して、ものづくりの自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指しましょう。

また、日常生活と関連付けながら学習し、これからの生活に課題をもって、よりよく生活するにはどうしたらよいか考え、工夫しましょう。